

山形県からのお知らせ

みんなでつくる 【地域計画】

地域農業の将来を考えよう！

「地域計画」とは？

「地域計画」は、約10年後の将来、地域の農地を「いつ」「誰が」「どの農地を」担い活用するのか、農業者や地域みなさんの話合いによって決める計画のことです。

市町村では、令和7年3月までの作成に向けて取り組んでいます。

地域計画はなぜ必要なの？

計画がないと…

農地が適切に管理されず、遊休農地が増え、条件の良い農地の確保が難しくなったり、効率的な営農ができなくなる可能性があります。



計画があると…

意欲ある担い手に農地を集めることができ、農地の有効活用につながります。



規模拡大がスムーズに

農地の適切な保全

さらに！

- 地域計画を作った地域
- 地域計画に位置付けられた農業者

これらの地域や農業者は、補助金等の支援措置を受けやすくなります。

～皆さんの声が未来の地域農業をつくります！～

現在市町村では、アンケート調査や話合いによって、地域の意見を取りまとめています。地域農業の将来を決めるには、皆さんの意見が欠かせません。積極的なご協力をお願いします！

詳しくは裏面もご覧ください。

なぜ今「地域計画」なのか？

- これまで市町村では、地域農業の将来のあり方等を示した「人・農地プラン」を作り、実行してきましたが、令和5年4月に農業経営基盤強化促進法が改正され、「人・農地プラン」が「**地域計画**」に変わりました。
- 市町村はこの法律に基づき、農業委員会や関係機関（JA・土地改良区・農地バンク等）と協力して、令和7年3月までの地域計画の作成に向けて取り組んでいます。

《これまで》

人・農地プラン

話し合い結果を
計画に!

《これから》

地域計画
目標地図

「目標地図」で将来の農地利用の姿を明確に

- 「地域計画」の作成にあたっては、「**目標地図**」が必要になります。「目標地図」とは、地域の話合いの結果や、農地の出し手・受け手の意向を踏まえて、「いつ」「誰が」「どの農地を」担い活用していくのかを地図として明確にしたものです。これにより、農地利用の将来像が地域で共有され、将来に向けた方針や取組みを、地域が一体となって進めていくことができます。

「目標地図」作成の流れのイメージ

※作成までの一例です。工程は地域によって異なる場合があります。

①現在の農地利用状況を確認



農業委員会サポートシステムを使用

現在の農地利用状況（耕作者ごと）に色分けされています。

②アンケートを行い、将来の意向を反映した意向地図を作成



将来の意向（現状を維持、規模を拡大・縮小したいなど）を地図に反映!

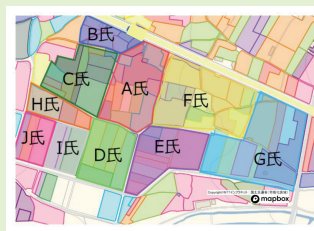
○:規模拡大 □:現状維持 ●:規模縮小 ■:経営移譲 ▲:その他

③意向地図をもとに話し合い



農業者や、土地の所有者、将来営農を考えている農業者の家族の方などが参加!

④目標地図の完成



目標地図が完成し、将来農地を誰が担うのか明確になりました!

皆さんの思いを「地域計画」に反映させよう!

- 現在市町村では、地域計画の作成と実行のため、**アンケート調査や話し合い**などを行っています。地域の皆さんの幅広い意見をもとに課題を共有し、**若い方や女性を含む多様な声を取り入れる**ことが大切です。多くの方の積極的なご協力をお願いいたします。
- 各市町村の地域計画については、お住まいの市町村農政担当課や農業委員会等へお問合せください。

連絡先

TEL